

令和4年12月12日

会員 各位

公益社団法人新潟県薬剤師会

会長 荻野 構一

「すべての薬剤師に知ってほしい『妊娠・授乳と薬』研修会」の開催について（ご案内）

平素より当会運営にご協力いただき、ありがとうございます。

さて、この度、当会では標記研修会を下記のとおり開催することといたしました。

妊娠・授乳中の方の薬剤投与については、平成31年4月に添付文書の記載要領が見直され、患者に的確に情報提供するためには薬剤師の判断が重要になっています。また、一部のカルシウム拮抗薬の妊婦禁忌が削除されるなど、臨床での使用実績をもとに様々な薬剤情報がアップデートされています。

どの薬局にも妊娠している患者が来局する可能性があります。薬剤師の情報不足や不適切な指導により、患者が治療継続を不安に思わないとも限りません。本研修は、薬局薬剤師が適切に服薬指導し、不安解消や妊娠、授乳の継続をサポートできるよう全ての薬剤師にご受講いただきたい内容です。

なお、本研修は、厚生労働省の補助を受け日本薬剤師会の「薬局ビジョン実現に向けた薬剤師のかりつけ機能強化事業」の一環として、実施されることとなる見込みです。

記

日時： 令和5年1月15日（日）10：00～12：00

会場： 新潟県薬剤師会館 会議室（新潟市中央区女池1丁目3番16号、電話 025-281-7735）

開催方法： ハイブリッド型研修（集合研修及び zoom ウェビナーによるweb研修）

受講料： 無料

定員： 集合研修 20名、web研修 490名

申込み： google フォーム (<https://forms.gle/xCeNEKjxTRpGoYXb7>から

令和5年1月4日（火）までにお申し込みください。

※ 研修プラットフォームからも申し込み可能です。

内容： 妊娠・授乳中の薬の基礎知識、最新情報の入手方法、患者への説明手法等
（プログラム（予定）は別紙のとおり）

その他： ・本研修を受講した薬剤師のリストを「妊娠・授乳期の服薬に関する導入研修受講薬剤師名簿（仮）」として新潟県薬剤師会ホームページで公表する予定です。

・日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度の1単位を付与予定です。集合研修の方はQRコードをご持参ください。

・web研修の方は、お申込みの際に受講者毎に別のメールアドレスをご用意ください。

・新潟県外の方も受講できますが、その場合は薬剤師リストには掲載されず、資料は電子データでの提供となりますので、ご了承ください。

問合せ： 公益社団法人新潟県薬剤師会 事務局担当 長谷川、齊藤、林

電話 025-281-7730、FAX 025-281-7735、メール gyoumu@niiyaku.or.jp

PECS への登録をされていない場合は、必ずご受講前にご登録ください。



【開催予告】「妊娠・授乳と薬」相談対応 実践研修会（仮）2月19日（日）13：30～16：00
妊娠・授乳期の服薬相談に対応できる薬局薬剤師の養成を目指した研修を開催予定です。

(案)

すべての薬剤師に知ってほしい「妊娠・授乳と薬」研修会 次第

日 時： 令和5年1月15日（日）10：00～12：00

会 場： 新潟県薬剤師会館 会議室・web配信（ハイブリッド開催）

1. 開会挨拶

2. 講演「周産期と薬～母乳育児支援で薬剤師に知ってほしいこと～（仮）」

講師：新潟市民病院 産科・婦人科 田村 正毅 先生

3. 講演「地域女性の『妊娠・授乳と薬』の悩みに対して

支援のできる薬剤師になるために（仮）」

講師：国立成育医療研究センター 妊娠と薬情報センター 八鍬 奈穂 先生

4. 閉会挨拶

プロフェッショナルスタンダード（PS）は主に「2. 医薬品の適正使用（安全性、経済性）」に該当します。JPALS コードは「15-2022-0049-101」です。